

「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づく各課・機関の取組

1 家庭

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
① 保護者への働きかけの推進	こども政策課	○「にいがた子育て応援アプリ」を通じ、子ども読書活動の推進について情報を発信する。	継続	○「にいがた子育て応援アプリ」で、子どもの読書活動につながるイベント情報を掲載し、保護者への周知・働きかけを行った。	継続	○「にいがた子育て応援アプリ」を通じ、子ども読書活動の推進について情報を発信する。
	こども家庭課	○ひとり親家庭の児童の小学校入学のお祝品として図書カードを支給する。	継続	○対象児童 398 名に図書カード（2,000 円）を支給した。	廃止	
	中央区健康福祉課	○股関節検診や健診時等に図書館の「うちどくブックリスト」を配布し、読み聞かせの啓発普及を行う。	継続	○股関節検診や健診時等に図書館の「うちどくブックリスト」を配布し、読み聞かせの啓発普及を行った。 ○中央図書館より寄贈を受けたリサイクル図書（絵本 14 冊）を活用し、南地域健康福祉センターの検診会場に設置した。	継続	○股関節検診や健診時等に図書館の「うちどくブックリスト」を配布し、読み聞かせの啓発普及を行う。
		○南地域保健福祉センターで行っている、障がい児を育てている保護者の集い「スマイルキッズ」において絵本の読み聞かせ等を行い、保護者に読み聞かせの大切さを体感してもらう。	継続	○南地域保健福祉センターで行っている、障がい児を育てている保護者の集い「スマイルキッズ」において絵本の読み聞かせ等を行い、保護者に読み聞かせの大切さを体感してもらった。	継続	○南地域保健福祉センターで行っている、障がい児を育てている保護者の集い「スマイルキッズ」において絵本の読み聞かせ等を行い、保護者に読み聞かせの大切さを体感してもらう。

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
① 保護者への働きかけの推進		○ 子育て応援ひろば, 児童センターでは幼児, 児童等に読み聞かせを実施する際, 同伴の保護者にも読み聞かせの大切さを伝える。	継続	○ 子育て応援ひろば, 児童センターでは幼児, 児童等に読み聞かせを実施する際, 同伴の保護者にも読み聞かせの大切さを伝えた。	継続	○ 子育て応援ひろば, 児童センターでは幼児, 児童等に読み聞かせを実施する際, 同伴の保護者にも読み聞かせの大切さを伝える。
	地域教育推進課	○ 大畑少年センターや若者支援センターにおいて, 図書館の「ほんぽーとBメール(中央図書館だより)」や各種チラシ等を設置し, 啓発に努める。	継続	○ 「ほんぽーとBメール(中央図書館だより)」, チラシ等を設置し, 来館者への啓発に努めた。	継続	○ ゆいぽーと 新潟市芸術創造村・国際青少年センターや新潟市若者支援センター「オール」において, 図書館の「ほんぽーとBメール(中央図書館だより)」や各種チラシ等を設置し, 啓発に努める。
		○ 大畑少年センター主催事業で, 小学生を対象に絵本の読み聞かせを行う。(3回)	継続	○ 読み聞かせ計6回(小学生83人 大人19人) <内訳> ・夏まつり【8月5日】小学生24人(職員による読み聞かせ) ・親子クッキング【9月9日、12月2日】小学生21人 大人19人(外部講師による読み聞かせ) ・お菓子教室【7月22日、10月21日、1月20日】小学生38人(外部講師による読み聞かせ)	廃止	

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
① 保護者への働きかけの推進	生涯学習センター	○ 小学校での子育て学習出前講座において、子どもの読書活動を啓発する図書館リーフレット(「うちどく of ススメ」) の配布を行う。	継続	○ 子育て学習出前講座を新 1 年生の保護者に対し、入学前学校説明会等で実施した。講座に、家庭教育の大切さを考えてもらうため専門の講師を派遣すると共に、図書館リーフレット(「うちどく (家読) of ススメ」) を配布した。(小学校: 102 校)	継続	中央公民館へ事業移管
	中央公民館				継続	○ 小学校での子育て学習出前講座において、子どもの読書活動を啓発する図書館リーフレット(「うちどく of ススメ」) の配布を行う。 ※生涯学習センターより事業移管
		○ 乳幼児期の家庭教育学級の講座の中で、絵本に関する時間を設ける。	継続	○ 4~7 ヶ月の子や 6 ヶ月から未就学児の子を持つ保護者を対象とした家庭教育講座の中で図書館司書や大学講師などを講師として、絵本の楽しさや大切さを学ぶ時間を設けた。(10 館)	継続	○ 乳幼児期の家庭教育学級の講座の中で、絵本に関する時間を設ける。
	中央図書館	○ 市政さわやかトーク宅配便、公民館や子育て支援センター等へ子どもの読書活動啓発のための講師を派遣する。	継続	○ 公民館主催事業に絵本の読み聞かせに関する講師として図書館職員を 15 回派遣した。 ○ 市政さわやかトーク宅配便は実施しなかった。	継続	○ 市政さわやかトーク宅配便、公民館や子育て支援センター等へ子どもの読書活動啓発のための講師を派遣する。

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
① 保護者への働きかけの推進	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親子で参加する読み聞かせ事業などを実施する。 ・ 定例の読み聞かせ事業「おはなしのじかん」 ・ 春と秋の読書週間事業等 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定例の読み聞かせ事業「おはなしのじかん」(職員・ボランティアが実施)を市立図書館全体で 1531 回実施し、12,708 人が参加した。 ○ 春と秋の読書週間や学校の長期休みの期間に特別行事として読み聞かせ事業を全館で 69 回実施し、1,250 人が参加した。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親子で参加する読み聞かせ事業などを実施する。 ・ 定例の読み聞かせ事業「おはなしのじかん」 ・ 春と秋の読書週間事業等
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせや読書に対する理解を深めるための講座の開催や情報提供を引き続き行う。 ・ 開催予定事業 「パパ&ママのための絵本講座」(中央) ○ 年齢別の図書館がおすすめする絵本や本のリストを作成し、配布する。 ・ 配布箇所 <ul style="list-style-type: none"> ① 各図書館 ② 1 歳誕生歯科健診時のブックスタート会場 ③ 1 歳半及び 3 歳児健診(協力:各区の健康福祉課) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「パパ&ママのための絵本講座」を 3 月 4 日(日)に開催し、15 名が参加した。 ○ 年齢別の「うちどくブックリスト」を図書館内や健康診断の会場等で配布した。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせや読書に対する理解を深めるための講座の開催や情報提供を引き続き行う。 ・ 開催予定事業 「おうちで楽しむ絵本講座」(中央) ○ 年齢別の図書館がおすすめする絵本や本のリストを作成し、配布する。 ・ 配布箇所 <ul style="list-style-type: none"> ① 各図書館 ② 1 歳誕生歯科健診時のブックスタート会場 ③ 1 歳半及び 3 歳児健診(協力:各区の健康福祉課)
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本小児科医会作成の啓発ポスターとリーフレット(「スマホに子守りをさせないで!」)を継続して市立図書館全館に設置する。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本小児科医会作成の啓発ポスターとリーフレット(「スマホに子守りをさせないで!」)を市立図書館全館に設置した。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本小児科医会作成の啓発ポスターとリーフレット(「スマホに子守りをさせないで!」)を継続して市立図書館全館に設置する。

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
① 保護者への働きかけの推進	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「うちどく」の関連事業を全 19 図書館で実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ティーンズ向けの「うちどくブックリスト」の作成【新規】 ・中央図書館で「子ども司書講座」※の実施 ・うちどく用読書ノート（5 種類）の配布 ○ 図書館のホームページ内に作成したキッズページを更新し、随時情報を提供する。 <p>※ 子ども司書講座 本が好きで読書に興味・関心が高い子どもたちを主な対象に、司書の業務を体験し、友達や家族に読書の素晴らしさや大切さを伝えるリーダーとなることを目指す取組。</p>	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「うちどくブックリスト 中学生向け」を作成し、市立図書館全館で配布、市内の中学校等に送付した。 ○ 「うちどく」の関連事業として、8 月に「子ども司書講座」を開催し、7 名の参加があり修了証を発行した。また、11 月に「子ども司書講座実践編」を行い、8 月の講座の修了生がおはなし会を職員と一緒に行った。 ○ 新 1 年生の保護者を対象に行う子育て学習出前講座において、「うちどくのススメ」のチラシを配布した。 ○ 市立図書館全館で広報ポスターを設置、うちどく用読書ノート（9 種類）の配布を行った。ノート 856 部、ぬりえ 1,680 部を配布。ノートは延べ 148 人、ぬりえは延べ 127 人から完了の申し出があった。 ○ 図書館のホームページ内のキッズページを随時更新し、読書週間事業や夏休みの事業等の情報提供を行った。 ○ 西川図書館で発行している「平成 29 年度いっしょがたのしい！うちどくしょ in 西川」に掲載した資料を読んだ感想をかいてもらい、「夏休みうちどくシート展示」として来館者向けに展示をした。（西川・潟東） 	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「うちどく」の関連事業を全 19 図書館で実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「うちどくブックリスト」の配布 ・「うちどくブックリスト 高校生向け」の作成 ・中央図書館で「子ども司書講座」※の実施 ・うちどく用読書ノート（5 種類）の配布 ○ 図書館のホームページ内に作成したキッズページを更新し、随時情報を提供する。 <p>※ 子ども司書講座 本が好きで読書に興味・関心が高い子どもたちを主な対象に、司書の業務を体験し、友達や家族に読書の素晴らしさや大切さを伝えるリーダーとなることを目指す取組。</p>

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
② ブックスタート事業の充実	こども家庭課	○ 平成 29 年度内に交付する母子健康手帳にブックスタートの意義を掲載し、啓発を行う。	継続	○ 平成 29 年度に交付する母子健康手帳にブックスタートの意義を掲載し、啓発を行った。	継続	○ 平成 30 年度内に交付する母子健康手帳にブックスタートの意義を掲載し、啓発を行う。
	保健所健康増進課	○ 1 歳誕生歯科健診事業でブックスタート事業を協力しながら実施する。	継続	○ 保健福祉センター等を会場として 1 歳誕生歯科健診事業を実施。同健診終了後、ブックスタート従事者と協力しながらスムーズな会場運営を行った。	継続	○ 1 歳誕生歯科健診事業でブックスタート事業を協力しながら実施する。
	中央区健康福祉課	○ ブックスタート関係者会議等に出席し、協力体制、実施状況について把握し情報を共有する。	継続	○ ブックスタート関係者会議等に出席し、協力体制、実施状況について把握し情報を共有した。	継続	○ ブックスタート関係者会議等に出席し、協力体制、実施状況について把握し情報を共有する。
		○ 母子健康手帳にブックスタートの意義を掲載し、啓発を行う。	継続	○ 母子健康手帳にブックスタートの意義を掲載し、啓発を行った。	継続	○ 母子健康手帳にブックスタートの意義を掲載し、啓発を行う。
	中央図書館	○ ブックスタート事業を継続して実施する。 ・平成 30 年度配付絵本の変更のための検討	継続	○ ブックスタート事業の実績 (H29. 4. 1～H30. 3. 31) 実施人数：5,632 人 上記実施人数のうち 1 歳誕生歯科健診会場でブックスタートを受けられなかった 38 人に、中心図書館 7 館でブックスタートを行った。 ○ 平成 30 年度配布絵本の検討をし、新たに配布する 3 冊を選定した。	継続	○ ブックスタート事業を継続して実施する。 ・ブックスタート事業に対する理解や効果の把握のため、参加者へのアンケートを実施する。

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
② ブックスタート事業の充実	中央図書館	○ 出産前後やブックスタート後の保護者を対象とした絵本講座の開催や子どもと読書に関する情報提供を行う。	継続	○ 地域子育て支援センターでの講座に、ボランティアを紹介し、資料提供を行った。	継続	○ 出産前後や乳幼児の保護者を対象とした絵本講座の開催や子どもと読書に関する情報提供を行う。
③ 子育て世代が利用しやすい図書館づくり	中央図書館	○ 17 図書館で子育ての参考となる資料を集めた「子育て応援コーナー」を設置し、資料の充実を図る。 実施館：豊栄・松浜・山の下・中央・舟江・鳥屋野・亀田・新津・白根・月潟・坂井輪・内野・黒埼・西川・岩室・潟東・巻	継続	○ 「子育て応援コーナー」に子育て関連の図書や子育て関連施設のチラシやパンフレットを設置し、子育て情報の周知に努めた。	継続	○ 17 図書館で子育ての参考となる資料を集めた「子育て応援コーナー」を設置し、資料の充実を図る。 実施館：豊栄・松浜・山の下・中央・舟江・鳥屋野・亀田・新津・白根・月潟・坂井輪・内野・黒埼・西川・岩室・潟東・巻
		○ 「赤ちゃんタイム」※の実施館を拡大する。 ・実施館を全 19 館に拡大 ※ 赤ちゃん連れの利用者が図書館でゆっくりと過ごすことができるよう、曜日や時間を決めて来館を呼びかけるもの。一般の利用者にも子ども連れの方の図書館利用への理解を求める。中央図書館では、平成 26 年 4 月から実施。	拡大	○ 4 月から実施館を 18 館から 19 館に拡大し、市内の全図書館で実施。 新規実施館：松浜図書館 中央図書館では、おはなしのじかんに参加した保護者同士が終了後、交流を図っている。地区館ではスペースも狭いため、ゆっくりと過ごすことが難しい館もあるが、今後も利用拡大に努める。	継続	○ 「赤ちゃんタイム」を全図書館で実施する。 ※赤ちゃん連れの利用者が図書館でゆっくりと過ごすことができるよう、曜日や時間を決めて来館を呼びかけるもの。一般の利用者にも子ども連れの方の図書館利用への理解を求める。中央図書館では、平成 26 年 4 月から実施。平成 29 年度には全図書館での実施となった。

2 保育園・幼稚園

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
① 保育園・幼稚園への支援	保育課	○ 図書館からのボランティアグループリストの情報提供を受け、園とボランティアの連携・協力を推進する。	継続	○ 市立保育園においてボランティアによる絵本の読み聞かせを152回実施した。 ○ 図書館からのボランティアグループリストの情報を受け、園とボランティアの連携による読み聞かせを、152回の内122回実施した。	継続	○ 図書館からのボランティアグループリストの情報提供を受け、園とボランティアの連携・協力を推進する。
		○ 保護者を対象とした絵本や読み聞かせ講座の開催を支援する。	継続	○ 市立保育園において保育参観日に絵本講座を開催するなど、保護者を対象とした絵本や読み聞かせ講座を2園で各1回実施した。	継続	○ 保護者を対象とした絵本や読み聞かせ講座の開催を支援する。
	学校支援課	○ 市立幼稚園の行事や園だより、保護者向けの絵本講座、市立幼稚園会等で保護者への情報提供をさらに進めるよう、指導・助言する。	継続	○ 市立幼稚園教頭・主任会で絵本等に親しむことの重要性を指導助言したことにより、各園では園の実情に合わせて保護者への啓発を推進した。	新規	○ 市立幼稚園教頭・主任会等で、保護者対象の絵本講座開催のための情報提供を行う。
		○ 市立幼稚園でのさまざまな取組事例を収集し、学校支援課広報紙「サポート」で情報提供を行う。	継続	○ 「サポート No.8」を2月に発行した。	廃止	

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
① 保育園・幼稚園への支援	学校支援課	○ 市立幼稚園長会等で、職員による読み聞かせと併せて読み聞かせボランティアとの連携・協力をさらに推進するよう依頼する。	継続	○ 市立幼稚園教頭・主任会を中心にして、読み聞かせボランティアとの連携・協力の大切さを指導・助言した。地域住民だけでなく、小学生や中学生も読み聞かせに参加した。	廃止	
	中央図書館	○ 園が開催する保護者やボランティア向けの絵本講座に講師を派遣する。	継続	○ 市内の幼稚園に、職員を1回派遣し、15名の参加があった。	継続	○ 園が開催する保護者やボランティア向けの絵本講座に講師を派遣する。
		○ 園で開催される保護者を対象とした絵本講座のための情報提供や講師派遣などの協力を行う。 ○ 園に対して読み聞かせ等ボランティアグループの紹介リストを提供し、連絡調整を行う。	継続	○ 市内の保育園や幼稚園に、ボランティアグループを4件紹介した。	継続	○ 園で開催される保護者を対象とした絵本講座のための情報提供や講師派遣などの協力を行う。 ○ 園に対して読み聞かせ等ボランティアグループの紹介リストを提供し、連絡調整を行う。
② 保育園・幼稚園における読書環境の整備	保育課	○ 環境の一つとして絵本に触れるスペースの確保に努める。（絵本コーナーの確保・絵本の展示の工夫等） ○ 「地域こども絵本ふれあい事業」の絵本の貸し出しを継続して行う。	継続	○ 絵本に触れるスペースの確保に努めた。（玄関前など絵本コーナーの確保・季節や行事に合わせた絵本の展示の工夫を行った） ○ 「地域こども絵本ふれあい事業」の絵本を38,158冊貸出した。	継続	○ 環境の一つとして絵本に触れるスペースの確保に努める。（絵本コーナーの確保・絵本の展示の工夫等） ○ 「地域こども絵本ふれあい事業」の絵本の貸し出しを継続して行う。

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
② 保育園・幼稚園における読書環境の整備	学校支援課	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者への働きかけ（行事やお便り等を利用した絵本紹介・啓発）を行う。 ○ 一部の市立保育園で進級のお祝いとして子ども（保護者）が選んだ絵本をプレゼントする。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者への働きかけ（お便り等を利用した絵本紹介・啓発）を行った。 ○ 52 園の市立保育園で進級のお祝いとして子ども（保護者）が選んだ絵本をプレゼントした。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者への働きかけ（行事やお便り等を利用した絵本紹介・啓発）を行う。 ○ 一部の市立保育園で進級のお祝いとして子ども（保護者）が選んだ絵本をプレゼントする。
	学校支援課	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館の推薦絵本リストや「地域子ども絵本ふれあい事業」によって設置した絵本の活用を市立幼稚園に働きかける。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市立幼稚園教頭・主任会を中心にして、図書館の推薦絵本等について紹介を進めた。 	新規	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市立幼稚園教頭・主任会等で、職員やボランティアによる読み聞かせをさらに推進するよう指導・助言する。
③ 職員研修の充実	保育課	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせや絵本についての講師派遣の情報提供と支援に努め、職員研修の充実を図る。 ・保育課主催で絵本に関する研修会の実施。 ・各区において絵本に関する研修会の実施。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育課主催で「子育て支援センターにおける絵本支援」と題した研修を12月5日（火）に実施し、34名参加した。 ○ 北区主催で「絵本と子ども～すばらしい絵本の世界～」と題した研修を2月9日（金）に実施し、15名参加した。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせや絵本についての講師派遣の情報提供と支援に努め、職員研修の充実を図る。 ・保育課主催で絵本に関する研修会の実施。 ・各区において絵本に関する研修会の実施。
	学校支援課	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各市立幼稚園への計画訪問および要請訪問の中で、講座や研修の企画や講師選定・派遣等についての支援を行う。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園への訪問の際、園の読書に関わる活動について情報交換を行い、取組の方向性を支援した。 	新規	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市立幼稚園教頭・主任会等で、各園での絵本や読み聞かせについての情報交換を行い、各園での研修を支援する。
	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 絵本や読み聞かせについての研修に関する情報提供や講師派遣などの支援を行う。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育園や幼稚園の職員研修に、2件講師派遣を行い、122名の参加があった。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 絵本や読み聞かせについての研修に関する情報提供や講師派遣などの支援を行う。

3 学校

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
① 学校図書館活用の拡大	学校人事課	○ 学校訪問を行う際、学校図書館の状況把握に努めるとともに、必要に応じて助言する。	継続	○ 管理主事が学校訪問を行った際、蔵書の状況や新規購入に係る予算の執行状況等について聞き取りを行った。	継続	○ 学校訪問を行う際、学校図書館の状況把握に努めるとともに、必要に応じて助言する。
	学校支援課	○ 小中学校における学校図書館の「読書センター」「学習・情報センター」としての機能をより高めることを目的として、学校図書館活用推進校事業を実施する（3年度目）。各区3校（小2，中1）程度を推進校とし、5年間で全ての市立小中学校が推進校を経験するように行う。	継続	○ 平成 29 年度も学校図書館活用推進校事業を実施した（3年目）。「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を高めるための学校図書館活用を促した。平成 29 年度学校図書館活用推進校は、小学校 22 校・中学校 12 校。	継続	○ 小中学校における学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能をより高めることを目的として、学校図書館活用推進校事業を実施する（4年度目）。各区3校（小2，中1）程度を推進校とし、5年間で全ての市立小中学校が推進校を経験するように行う。
		○ 各区で推進校を中心にして、管理職の指導のもと教員と学校司書との連携・協働による取組（学校図書館を活用した授業等）を進め、その成果を2月に開催する実践報告会で共有しあう。	継続	○ 平成 29 年度の実践報告会を2月に各区ごとに実施した。実践報告会では、各校が作成した「全体計画」「年間活用計画」「実践例」を基に成果と課題を交流した。今年度は、市立特別支援学校、市立高等学校にも実践報告会開催案内を通知し、特別支援学校の学校司書が実践報告会に参加した。	継続	○ 各区で推進校を中心にして、全校体制で教員と学校司書との連携・協働による取組（学校図書館を活用した授業等）を進め、その成果を2月に開催する実践報告会で共有しあう。

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
① 学校図書館活用の拡大	学校支援課	○ 平成 28 年度の取組を各区 1 校程度の実践事例や資料（全体計画等）を集め、市のHPで掲載する。	新規	○ 平成 28 年度の取組の中で各区 1 校程度の実践事例や資料（全体計画等）を平成 29 年 4 月に市のHPに掲載した。計画立案や実践のモデルとなる事例を複数掲載した。	新規	○ 平成 29 年度の取組を各区 1 校程度の実践事例や資料（全体計画等）を集め、市のHPで掲載する。
	中央図書館	○ 「学校図書館活用推進校」に、資料や情報の提供、相談対応などの支援を実施する。 ○ 5 月 15 日（月）「学校図書館活用推進校事業説明会」に協力 ○ 2 月 各区「学校図書館活用推進校実践報告会」に出席	継続	○ 「学校図書館活用推進校」に、資料や情報の提供、相談対応などの支援を実施した。 ○ 5 月 15 日（月）「学校図書館活用推進校事業説明会」で本計画の説明、参考図書の展示を行うなどの協力をした。 ○ 2 月 各区「学校図書館活用推進校実践報告会」に出席	継続	○ 「学校図書館活用推進校」に、資料や情報の提供、相談対応などの支援を実施する。 ○ 5 月 24 日「学校図書館活用推進校事業研修会」に協力 ○ 2 月 各区「学校図書館活用推進校実践報告会」に出席
② 教職員研修の充実	学校人事課	○ 校園長会などを通じて図書館運営に係る校内組織の点検と、子どもの読書活動推進について啓発を図り、本計画の実効性を高める。 ○ 管理主事が学校訪問を行った際、校長に対し、司書教諭と司書が組織的に動いているかについて指導を行う。 ○ 学校に対し、司書に対して校内研修の内容が伝達されているのかを確認する	継続	○ 校長会、校長会理事会、園長会を通して、図書館運営に係る校内組織の点検と読書活動の推進について啓発した。 ○ 管理主事が学校訪問を行った際、校長に対し、司書教諭と学校司書が組織的に動いているか、確認と指導を行った。 ○ 校長会及び教頭会で、学校司書及び臨時・非常勤職員に対しても、コンプライアンス等の校内研修の内容を確実に伝えるよう指導した。	継続	○ 管理主事が学校訪問を行った際、校長に対し、司書教諭と司書が組織的に動いているかについて指導を行う。 ○ 学校に対し、司書に対して校内研修の内容が伝達されているのかを確認する。

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
② 教職員研修の充実	学校人事課 総合教育センター	○ 学校図書館司書が受講する研修の拡大について検討する。	継続	○ 今年度、学校司書が受講できる講座を新たに 6 講座増やした。今年度の成果や改善点を基に、講座の質的充実を図るよう検討している。	継続	○ 学校司書が受講する研修の拡大について検討する。
		○ 図書館と協働して「教員と司書との連携充実」講座を実施する。 ①講座Ⅰ「図書館活用推進編」…8月3日（木）、白根学習館。28年度の学校図書館活用推進校3校の発表と、足立幸子新潟大学准教授を講師に迎え、「学校図書館活用推進に向けて」について講義していただく。 ②講座Ⅱ「探究的な学習編」…8月24日（木）、総合教育センター。清教学園中・高等学校 図書館リブラリア館長 片岡則夫教諭を講師に迎え、「探究的な学習を活性化させる学校図書館の役割と支援」の講義を行う。	継続	○ 図書館と協働して「教員と司書との連携充実」講座を実施した。 ①講座Ⅰ「図書館活用推進編」…8月3日（木）、白根学習館。28年度推進校3校（小須戸小・中野山小・関屋中）の発表と、足立幸子准教授の「もっと図書館を～読書センター・学習センター・情報センターとしての環境と活動」の講義を実施した。教諭 65 名、学校司書 107 名、合計 172 名の参加があった。学校図書館支援センターと協力して、参考図書を準備し、受講者が実際に手に取ることができるようにした。 ②講座Ⅱ「探究的な学習編」…8月24日（木）、総合教育センター。片岡則夫教諭の講義「探究的な学習を活性化させる学校図書館の役割と支援」を実施した。教諭 41 名、学校司書 78 名、合計 119 名の参加があった。特に、講師の豊富な経験を基にした、子どもに「問い」を生ませるための関わり方が、好評であった。	継続	○ 図書館と協働して「教員と司書との連携充実」講座を実施する。 ①講座Ⅰ「図書館活用推進編」…8月3日（金）、白根学習館。29年度の学校図書館活用推進校3校の発表と、平久江祐司筑波大学教授を講師に迎え、「学校図書館活用推進に向けて」について講義していただく。 ②講座Ⅱ「探究的な学習編」…8月20日（月）、江南区文化会館。清教学園中・高等学校 図書館リブラリア館長 片岡則夫教諭を講師に迎え、「探究的な学習を活性化させる学校図書館の役割と支援」の講義を行う。 ○ 学校司書が受講できる講座を 6 講座紹介する。

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
② 教職員研修の充実	総合教育センター	○ 小中学生の読書の実態を知るため、11月に実施する「生活・学習意識調査」において、全学年に1か月の読書冊数を問う。	継続	○ 「生活・学習意識調査」において、小中学生の読書の実態を知るため1か月の読書冊数を調べた。調査の結果、1か月に10冊以上本を読んだ児童生徒の割合は以下の通りであった(括弧内は28年度の結果)。 小1:66.7%(66.3) 小2:58.8%(61.6) 小3:58.9%(57.6) 小4:48.2%(49.2) 小5:36.9%(36.5) 小6:25.8%(25.9) 中1:11.4%(10.3) 中2:8.3%(7.6) 中3:7.0%(6.8) 中学校全学年で若干数値が上がっている。	継続	○ 小中学生の読書の実態を知るため、11月に実施する「生活・学習意識調査」において、全学年に1か月の読書冊数を問う。
	中央図書館	○ 新任学校司書研修を6回実施する。 ① 4月4日(火) 学校図書館の運営と学校司書の役割、オリエンテーション ② 4月5日(水) 学校図書館電算システム操作研修(基本操作と進級処理) ③ 5月18日(木) 服務、読み聞かせ(講義と実習) ④ 6月12日(月) 蔵書の整理(選書、除籍、修理、装備) ⑤ 7月13日(木) 学校図書館の役割、実際(小・中の校種別) ⑥ 12月 学校図書館電算システム操作研修(蔵書点検)	継続	○ 新任学校司書研修を6回実施した。 ① 4月4日(火) 学校図書館の運営と学校司書の役割、オリエンテーション ② 4月5日(水) 学校図書館電算システム操作研修(基本操作と進級処理) ③ 5月18日(木) 服務、読み聞かせ(講義と実習)、著作権 ④ 6月12日(月) 蔵書の整理(選書、除籍、修理、装備) ⑤ 7月13日(木) 学校図書館の役割、実際(小・中の校種別) ⑥ 11月16日(木)、17日(金) 学校図書館電算システム操作研修 延92人参加	継続	○ 新任学校司書研修を6回実施する。 ① 4月3日(火) 学校図書館の運営と学校司書の役割、オリエンテーション ② 4月4日(水) 学校図書館電算システム操作研修(基本操作と進級処理) ③ 5月30日(水) 服務、読み聞かせ(講義と実習)、著作権 ④ 6月18日(月) 蔵書の整理(選書、除籍、修理、装備) ⑤ 7月10日(火) 学校図書館の役割、実際(小・中の校種別) ⑥ 12月 学校図書館電算システム操作研修(蔵書点検)

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
② 教職員研修の充 実	中央図書館	○ 学校司書実務研修を実施する。 ・4 支援センター共通で「学校図書館とNIE」をテーマに実施 ・その他のテーマで各支援センターで1回実施	継続	○ 学校司書実務研修を実施した。 ・4 支援センター共通で「学校図書館とNIE-新聞を活用しよう」をテーマに,2 支援センターごとに計 2 回実施 ・その他, 各支援センターで1回実施 「読書意欲を高める取組」(中央) 「子どもの理解と特別支援教育」(豊栄・白根・西川)	継続	○ 学校司書実務研修を実施する。 ・各支援センターで2回実施
		○ 総合教育センターが行う「教員と司書との連携充実」講座に協力する。 ・図書館活用推進編 8月3日(木) ・探究的な学習編 8月24日(木) ○ 上記研修会の開催準備のため, 総合教育センターと図書館が連携し, 企画会議を行う。	継続	○ 総合教育センターが行う「教員と司書との連携充実」講座の企画, 当日の運営に協力した。 ・図書館活用推進編 8月3日(木) 172名(教員65名, 学校司書107名) ・探究的な学習編 8月24日(木) 119名(教員41名, 学校司書78名) ○ 上記研修会の開催準備のため, 総合教育センターと図書館が連携し, 企画会議を行った。	継続	○ 総合教育センターが行う「教員と司書との連携充実」講座に協力する。 ・図書館活用推進編 8月3日(金) ・探究的な学習編 8月20日(月) ○ 上記研修会の開催準備のため, 総合教育センターと図書館が連携し, 企画会議を行う。

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
③ 特別支援学校の読書環境の整備	教育総務課	○ 特別支援学校における読書環境の充実に係り、関係課・機関による検討結果を踏まえて整備を進める。	継続	○ 東・西特別支援学校及び教委事務局関係所属で連絡会議を 11 月に開催した。今年度の学校や関係所属の取組状況を報告し、学校司書を配置したことによる一定の成果等を確認した。 ＜成果＞ ・児童生徒が図書に触れる機会が増加した ・授業づくりに学校司書が活用された ・図書館の環境が整備された ・蔵書管理システムを設置し蔵書の整理を行った ＜課題＞ ・貸出など運用方法のさらなる検討を要する ・図書標準に対し、蔵書数が不足している	継続	○ 特別支援学校における読書環境の充実に係り、関係課・機関による検討結果を踏まえて整備を進める。
	学務課	○ 特別支援学校の学校図書館整備引き続き関係課・機関による特別支援学校の学校図書館整備検討会において、特別支援学校の現況、要望を聞きながら、特別支援学校における読書活動への支援の在り方や読書環境整備に向けた議論を踏まえて、学校図書館の整備を進める。	継続	○ 特別支援学校の学校図書館整備に向け、関係課等による連絡会において意見交換し、情報の共有を図った。 ○ 特別支援学校の学校図書館整備に係る図書費の追加配当を実施した。	継続	○ 特別支援学校の学校図書館整備引き続き関係課・機関による「特別支援学校の学校図書館整備連絡会」において、特別支援学校の現況、要望を聞きながら、特別支援学校における読書活動への支援の在り方や読書環境整備に向けた議論を踏まえて、学校図書館の整備を進める。

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
③ 特別支援学校の読書環境の整備	学校人事課	○ 特別支援学校における読書環境の充実に係り、関係課・機関による検討結果を踏まえて整備を進める。	継続	○ 「特別支援学校の学校図書館整備連絡会」に参加し、今後も学校司書の配置を継続するとともに、研修の充実を図る方向性を確認した。	継続	○ 特別支援学校における読書環境の充実に係り、関係課・機関による検討結果を踏まえて整備を進める。
	学校支援課	○ 特別支援学校の学校図書館整備検討会の設置 特別支援学校の現況、要望を聞きながら、特別支援学校における読書活動への支援の在り方や読書環境整備に向けて、関係課・機関による検討会を設け、その議論を踏まえて学校図書館の整備を進める。	継続	○ 本年度全校に学校司書が配置されたことで、学校図書館の活用の仕方・読書指導の仕方への理解が進んだ。「特別支援学校の学校図書館整備連絡会」では、教員と司書がうまく連携・協働して図書館運営を行っていること、学年ごとに読書活動を計画的に行っていること、デジタル絵本を効果的に活用していることなど優れた実践が報告された。	継続	○ 特別支援学校の現況、要望を聞きながら、特別支援学校における読書活動への支援の在り方や読書環境整備に向けて、学校図書館の整備を進める。
	中央図書館	○ 司書配置を受けて、特別支援学校の学校図書館を支援する。 ○ 「(仮) 特別支援学校における学校図書館連絡会議」等を通して、関係課・機関と情報共有し、学校図書館整備に協力する。	継続	○ 学校司書と密に連絡をとりながら、特別支援学校の学校図書館整備を支援した。 ○ 11月30日(木)「特別支援学校の学校図書館整備連絡会」に参加。特別支援学校や関係課の取組状況を報告し、成果や課題について情報共有を図った。	継続	○ 司書配置から2年目を迎えた特別支援学校の学校図書館を支援する。 ○ 「特別支援学校における学校図書館連絡会議」等を通して、関係課・機関と情報共有し、学校図書館整備に協力する。
④ 学校図書館の充実	学務課	○ 学校図書館図書標準の維持と蔵書の更新 学校図書館図書調査を年1回実施し、学校図書館図書標準の維持に努める。	継続	○ 7月に学校図書館図書調査を実施した。図書費及び図書蔵書冊数を調査・管理しながら学校図書館図書標準の維持に努めた。	継続	○ 学校図書館図書標準の維持と蔵書の更新 学校図書館図書調査を年1回実施し、学校図書館図書標準の維持に努める。

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
④ 学校図書館の充実	施設課	○ 大規模改修事業で既存学校図書館の機能向上に向けた整備を進める。	継続	○ 大規模改修事業で牡丹山小 151 m ² , 曾野木小 154 m ² , 亀田小 146 m ² , 木戸中 204 m ² の整備を実施した。	継続	○ 大規模改修事業で既存学校図書館の機能向上に向けた整備を進める。
	学校人事課	○ 学校図書館蔵書管理システムの運用に係る支援体制を強化する。	継続	○ サポート代表校を引き続き 16 校設け, 各校の学校司書が相談しやすい体制を維持した。 ○ サポート代表校学校司書も蔵書管理システム操作研修会の参加対象とした。	継続	○ 学校図書館蔵書管理システムの運用に係る支援体制を維持する。
	学校支援課	○ 「学校図書館関係課・機関連絡会議」での協議を踏まえて, 学校図書館の蔵書や運営に関して, 各校に指導・助言を与える。	継続	○ 「学校図書館関係課・機関連絡会議」での協議を踏まえて, 主に学校図書館の運営について, 各校に指導・助言を行った。	継続	○ 「学校図書館関係課・機関連絡会議」での協議を踏まえて, 学校図書館の蔵書や運営に関して, 各校に指導・助言を与える。
	中央図書館	○ 「学校図書館関係課・機関連絡会議」を開催し, 教育委員会全体で学校図書館の活用・充実を推進する。	継続	○ 「学校図書館関係課・機関連絡会議」を 5 月 31 日（水）, 2 月 15 日（木）に開催し, 学校図書館の活用・充実に向けて情報を共有した。	継続	○ 「学校図書館関係課・機関連絡会議」を開催し, 教育委員会全体で学校図書館の活用・充実を推進する。
⑤ 学校図書館支援センターによる支援	中央図書館	○ 4 つの学校図書館支援センターが担当区の学校図書館を訪問し, 図書館業務や資料の相談に対応する。	継続	○ 4 つの学校図書館支援センターが担当区の学校図書館を訪問し, 図書館業務や資料の相談に対応した。 訪問回数 305 回 業務相談 1,062 件 資料相談 650 件	継続	○ 4 つの学校図書館支援センターが担当区の学校図書館を訪問し, 図書館業務や資料の相談に対応する。

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
⑤ 学校図書館支援センターによる支援	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校への資料支援として、学校貸出図書搬送事業および学校貸出セット【オレンジ BOX】の貸出を継続実施する。 ○ 学校貸出セット【オレンジ BOX】の内容を見直し、新刊資料の追加など入替を行う。(5 月から運用開始) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校への団体貸出冊数 68,733 冊 前年度比 8%増加 ※学校貸出セット【オレンジ BOX】 120 件, 4,033 冊を含む ○ 学校搬送（貸出）1,484 箱 33,668 冊 （返却）1,363 箱 32,245 冊 利用箱数 2,847 箱 前年度比 4%減 （団体貸出, 学校搬送の冊数は, 県立・私立の学校等も含む） ○ 学校貸出セット【オレンジ BOX】の充実 総合の 8 セット, 国語 17 セットに 新刊等を追加した。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校への資料支援として、学校貸出図書搬送事業および学校貸出セット【オレンジ BOX】の貸出を継続実施する。 ○ 平成 31 年度教科書改訂にともない、学校貸出セット【オレンジ BOX】の内容を見直し、資料を更新する。

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
⑤ 学校図書館支援センターによる支援	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館に関する情報を適宜提供する。 ○ 「学校図書館支援センター通信」発行 ○ 学校図書館支援センターHPを更新 ○ 「新潟市学校図書館実務マニュアル」改訂 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校図書館支援センター通信合同版」発行 3回 ○ 学校図書館支援センターHPを更新 ○ 「新潟市学校図書館実務マニュアル」を改訂し、学校へ送付した。(9月, 3月) ○ 図書館サービス向上委員会による「りぶしるー図書館をつなげる情報サイト」への取材協力。(教育長, 小・中・高等学校各 1 校, 特別支援学校 2 校, 中央図書館) ○ 6月 22日(木) 関東地区公共図書館協議会総会・研究発表大会(新潟大会)と 11月 9日(木) 図書館総合展で、新潟市の学校図書館支援について事例発表した。 ○ 「変わる! 学校図書館」シリーズ(ミネルヴァ書房)に学校図書館の写真掲載の協力をした。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館に関する情報を適宜提供する。 ○ 「学校図書館支援センター通信」発行 ○ 学校図書館支援センターHPを更新 ○ 「新潟市学校図書館実務マニュアル」改訂

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
⑥ 地域との連携	地域教育推進課	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と学校パートナーシップ事業実施校（市立の小・中・中等教育・特別支援学校全 166 校）において、 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の図書館ボランティアのニーズをもとに、地域教育コーディネーターが学校図書館ボランティア確保の協力をを行う。 ・学校図書館ボランティアについての情報共有を促す。 ○ 地域と学校パートナーシップ事業研修に市立図書館職員が参加し、事業理解と学校との連携を図る。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と学校パートナーシップ事業実施校（市立の小・中・中等教育・特別支援学校全 166 校）において、 <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書や司書教諭と、地域教育コーディネーターが連携し、学校図書館ボランティア確保の協力をを行った。 ・学校図書館ボランティアについての情報共有を促した。 ○ 地域と学校パートナーシップ事業研修に市立図書館職員が参加し、市立図書館の新たな取組を紹介する場を設定したことで、市立図書館と学校との連携を図った。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と学校パートナーシップ事業実施校（市立の小・中・中等教育・特別支援学校全 165 校）において、 <ul style="list-style-type: none"> ・学校のニーズをもとに、地域教育コーディネーターが学校図書館ボランティア確保の協力をを行う。 ・学校図書館ボランティアについての情報共有を促す。 ○ 地域と学校パートナーシップ事業研修に市立図書館職員が参加し、事業理解と学校との連携を図る。
	学校人事課	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施可能な小・中学校で、夏季休業中の学校図書館の地域開放を実施する。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校は学校図書館の地域開放を 80 校（9 校減）で実施。児童と合わせた全体の利用者数は 15,969 人で、前年度より 433 人増加した。 ○ 中学校も 13 校で地域開放を行い、生徒と合わせた全体の利用者数は 2,839 人であった。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施可能な小・中学校で、夏季休業中の学校図書館の地域開放を実施する。
	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と学校パートナーシップ事業研修に図書館職員が参加し、事業理解と学校との連携を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域教育コーディネーターと各学校における図書館利用について情報交換する。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と学校パートナーシップ事業研修に図書館職員が 22 名参加した。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と学校パートナーシップ事業研修に図書館職員が参加し、事業理解と学校との連携を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域教育コーディネーターと各学校における図書館利用について情報交換する。

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
⑥ 地域との連携	中央図書館	○ 地域教育コーディネーターと連携し、読み聞かせ等学校図書館ボランティア研修に協力する。	継続	○ 地域教育コーディネーターと連携し、学校の読み聞かせや本の修理ボランティア研修に講師を派遣し、10校で13回実施した。	継続	○ 地域教育コーディネーターと連携し、読み聞かせ等学校図書館ボランティア研修に協力する。

4 地域（1）図書館

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組（計画）	区分	平成 29 年度 of 取組（結果）	区分	平成 30 年度 of 取組（計画）
① 図書館の充実	中央図書館	○ 子どもの発達段階に応じた児童書の収集と提供を行う。 ○ 子育て応援コーナーの資料の充実に努める。	継続	○ 「子育て応援コーナー」に子育て関連の図書や子育て関連施設のチラシやパンフレットを設置し、子育て情報の周知に努めた。【再掲】	継続	○ 子どもの発達段階に応じた児童書の収集と提供を行う。 ○ 子育て応援コーナーの資料の充実に努める。【再掲】
		○ 引き続き、障がいのある子どもや日本語に不慣れな子どものための資料収集・情報提供を積極的に行う。	継続	○ 資料の収集・情報提供を行った。	拡大	○ 引き続き、障がいのある子どもや日本語に不慣れな子どものための資料収集・情報提供を積極的に行う。 ・中央図書館でLLブック※コーナーの設置【新規】 ・中央図書館で図書館利用案内のLL版を作成【新規】 ※LLブック 知的障がいや自閉症、読み書きに障がいがある人などにも読みやすく書かれた本。文字のポイントを大きくして行間を空け、絵文字や写真を多くし、振り仮名を付けるなど、さまざまな工夫がなされている。

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
② 子どもと本を結ぶ事業の実施	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親子で参加する読み聞かせ事業などを実施する。【再掲】 ・ 定例の読み聞かせ事業「おはなしのじかん」 ・ 春と秋の読書週間事業等 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定例の読み聞かせ事業「おはなしのじかん」(職員・ボランティアが実施)を市立図書館全体で 1,531 回実施し, 14,239 人が参加した。【再掲】 ○ 春と秋の読書週間や学校の長期休みの期間に特別行事として読み聞かせ事業を全館で 68 回実施し, 1,228 人が参加した。【再掲】 ○ 新潟かみしばいクラブとの共催で「カミシバイハウス」を 12 回実施し, 159 人参加があった。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親子で参加する読み聞かせ事業などを実施する。【再掲】 ・ 定例の読み聞かせ事業「おはなしのじかん」 ・ 春と秋の読書週間事業等

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
② 子どもと本を結ぶ事業の実施	中央図書館	<p>○ 子どもを対象にした事業を実施する。</p> <p>実施予定の主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介カード作成（全館） ・一日図書館員 ・こどもとしょかんウォークラリー（中央） ・ほんぽーと開館 10 周年記念事業（中央） ・クリスマスカード作り（新津） ・脱出ゲーム（坂井輪） <p>実施予定の主な共催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親子標本制作講習会」（総合教育センター） ・「コズミックカレッジ」（総合教育センター） 	継続	<p>○ 各図書館で子どもを対象とした事業を実施し、延べ 7,355 人が参加した。</p> <p>実施した主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館 10 周年関連事業（中央） 「黒井健原画展 in ほんぽーと」 1,606 人 ・「ポンポンスタンプでころわんを描いてみよう！」 55 人 ・こどもとしょかんウォークラリー（中央） 4 回 1,537 人 ・ほんぽーと子どもシアター（中央） 3 回 159 人 ・子ども映写会（新津）3 回 187 人 ・一日子ども図書館員 8 回 39 人 （豊栄・松浜・新津・黒埼・西川・岩室・潟東） ・体験しよう！図書館のしごと（亀田） 8 人 ・本気で司書体験（坂井輪）12 人 ・子ども司書講座（中央） 7 人 ・図書館員になってみる日（白根） 8 人 ・外国語の絵本の読み聞かせ（亀田・坂井輪・生涯学習センター）78 人 <p>実施した主な共催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子標本制作講習会（総合教育センター）子ども 28 人，大人 25 人 ・コズミックカレッジ新潟会場 2017（総合教育センター）子ども 25 人，大人 27 人 	継続	<p>○ 子どもを対象にした事業を実施する。</p> <p>実施予定の主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・としょかん探偵局 ・一日図書館員 ・ほんぽーと子どもシアター（中央） ・としょかんアドベンチャー（中央） ・クリスマスカード作り（新津） ・外国語の絵本の読み聞かせ（中央・亀田・生涯学習センター）

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
③ ティーンズ世代への支援	中央図書館	○ ビブリオバトルの実施 ※発表者がおすすめする本を 1 人 5 分で順番に紹介。観覧者が 1 番読みたくなった本を投票して決定する「知的書評合戦」。	継続	○ 2 月 4 日(日)に中高校生の部と一般の部と分けずに実施した。高校生 2 人を含む発表者 7 人, 観覧者 24 人。優勝者は高校生だった。	継続	○ ビブリオバトルの実施
		○ ティーンズ向けブックリストや情報紙の作成・配布を行う。	継続	○ ティーンズ向け情報紙「Leaf」(中央図書館)を 3 月に発行した。	継続	○ ティーンズ向けブックリストや情報紙の作成・配布を行う。
		○ ティーンズ向けブックリストや情報紙の作成・配布を行う。	継続	○ 「うちどくブックリスト 中学生向け」を作成し, 市立図書館全館で配布, 市内の中学校等に送付した。 【再掲】	拡大	○ 「うちどくブックリスト 高校生向け」の作成【再掲】
④ 保育園・幼稚園, 学校, 地域子育て支援センター, 放課後児童クラブなどへの支援	中央図書館	○ 保育園・幼稚園, 学校などからの施設見学・職場体験活動を受け入れる。	継続	○ 施設見学は 74 回, 1,942 人を受け入れた。 ○ 職場体験は 63 回, 185 人を受け入れた。	継続	○ 保育園・幼稚園, 学校などからの施設見学・職場体験活動を受け入れる。

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
④ 保育園・幼稚園，学校，地域子育て支援センター，放課後児童クラブなどへの支援	中央図書館	○ 保育園や幼稚園，地域子育て支援センターなどの絵本講座に引き続き講師を派遣する。	継続	○ 保育園や幼稚園，地域子育て支援センターなどへ絵本講座の講師を派遣した。 ・ 保護者向け 1 回 15 名（保育園や幼稚園）【再掲】 2 回（幼稚園・地域子育て支援センター） ・ 職員向け（保育園や幼稚園） 2 件 122 名参加【再掲】 5 件（学校，地域子育て支援センター，放課後児童クラブ） ・ 子ども向け 38 回（保育園・幼稚園） 7 ヲ所（地域子育て支援センター） 27 回（子育て応援広場）	継続	○ 保育園や幼稚園，地域子育て支援センターなどの絵本講座に引き続き講師を派遣する。
		○ 各図書館から学校や施設等へリサイクル図書の提供を継続して実施する。	継続	○ リサイクル資料を 83 団体に 3,251 冊提供した。 主な提供先 ・ 市内小中学校 ・ 子ども創造センター ・ 教育相談センター ・ 北地域保健福祉センター ・ 南地域保健福祉センター	継続	○ 各図書館から学校や施設等へリサイクル図書の提供を継続して実施する。

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
④ 保育園・幼稚園，学校，地域子育て支援センター，放課後児童クラブなどへの支援	中央図書館	○ 継続して団体貸出の利用やリサイクル資料活用を呼びかける。	拡大	○ 10 月から新しい団体貸出の制度をスタートし，広く利用を呼び掛けた。 ・ 10 月から新たに保育園・幼稚園 5 件，地域教育コーディネーター 3 件の団体登録があった。	継続	○ 継続して団体貸出の利用やリサイクル資料活用を呼びかける。
⑤ ボランティアとの連携・支援	中央図書館	○ ボランティア養成やステップアップのための講座，情報交換会を開催する。 ・ 読み聞かせボランティア養成講座やステップアップ講座の開催 ・ 読み聞かせボランティア交流会の実施	継続	○ ブックスタートステップアップ講座を 2 会場で開催し，56 名の参加があった。 ○ 読み聞かせボランティア養成講座（ステップアップ編）を開催し 41 人の参加があった。	継続	○ ボランティア養成やステップアップのための講座，情報交換会を開催する。 ・ 読み聞かせボランティア養成講座やステップアップ講座の開催 ・ 読み聞かせボランティア情報交換会の実施

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
⑤ ボランティアとの連携・支援	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせ等ボランティア自主研修会との共催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会を共催事業として年 2 回実施する。 ○ 中央図書館友の会との共催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・11 月に行う「子どもフェスティバル 2017」を共催事業として実施する。 ○ 豊栄図書館応援団との共催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「わくわく体験夏まつり」を実施する。 ○ 中央図書館で新潟かみしばいクラブとの共催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第 4 土曜日に、中央図書館で新潟かみしばいクラブとの「カミシバイハウス」の共催事業の実施 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせ等ボランティア自主研修会との共催事業を 2 回実施し、41 名の参加があった。 ○ 中央図書館友の会との共催事業である「子どもフェスティバル 2017」を開催し、59 名の参加があった。 ○ 豊栄図書館応援団との共催事業で、「わくわく体験夏まつり」を行い、1,118 名の参加があった。 ○ 新潟かみしばいクラブとの共催で「カミシバイハウス」を 12 回実施し、159 人参加があった。（再掲） ○ 中央図書館開館 10 周年事業の一環として「黒井健原画展 in ほんぽーと」でギャラリーガイドボランティアを 41 名養成し、延べ 134 名の協力で実施した。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み聞かせ等ボランティア自主研修会との共催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会を共催事業として年 2 回実施する。 ○ 中央図書館友の会との共催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・11 月に行う「子どもフェスティバル 2018（仮）」を共催事業として実施する。 ○ 豊栄図書館応援団との共催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「わくわく体験夏まつり」を実施する。 ○ コズミック実行委員会との共催事業（中央） <ul style="list-style-type: none"> ・7 月に「コズミックカレッジ」を実施する。 ○ ボランティアグループとの共催事業（中央） <ul style="list-style-type: none"> ・7 月にアニメーション事業を実施する。 <p>※アニメーション 対話を重視した「創造的な遊び」の手法による読書教育の一つの方法で、その場で読み聞かせたり、参加者があらかじめ同じ本を読んでおき、楽しみながら読解力・表現力・コミュニケーション能力を高めていこうとするもの。</p>

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
⑥ 地域の書店・企業や民間団体・施設等との連携・協力	中央図書館	○ 子どもや保護者向けの読書活動関連事業の協働実施を推進し、情報の共有を図る。	継続	○ 北新越こどものとも社と共催で、「新潟絵本講座 2017」を開催し、115名の参加があった。	継続	○ 子どもや保護者向けの読書活動関連事業の協働実施を推進し、情報の共有を図る。
		○ 「絵本ワールド 2017」に読み聞かせボランティア等を紹介し、運営の補助を行う。		○ 「絵本ワールド 2017」に協力し、ボランティア団体を 11 団体紹介し、運営の補助を行った。		○ 「絵本ワールド 2018」に読み聞かせボランティア等を紹介し、運営の補助を行う。
		○ 日本小児科医会作成の啓発ポスターとリーフレット（「スマホに子守りをさせないで！」）を継続して市立図書館全館に設置する。 【再掲】	継続	○ 日本小児科医会作成の啓発ポスターとリーフレット（「スマホに子守りをさせないで！」）を市立図書館全館に設置した。 【再掲】	継続	○ 日本小児科医会作成の啓発ポスターとリーフレット（「スマホに子守りをさせないで！」）を継続して市立図書館全館に設置する。 【再掲】
		○ 小児科医院や子ども食堂などの子育て関連の民間施設などへの団体貸出の利用やリサイクル図書の提供について、検討を進める。	拡大	○ 新しい団体貸出についての情報提供を行い、資料提供を行った。 ・ 放課後等児童サービスや学習塾など団体登録があった。	継続	○ 小児科医院や子ども食堂などの子育て関連の民間施設などへ団体貸出の利用について情報提供を行う。 ○ 小児科医院や子ども食堂などの子育て関連の民間施設などへのリサイクル図書の提供について検討を進める。
		○ 地域の書店に「うちどくブックリスト」設置の協力を依頼する。	新規	○ 地域の書店に依頼した。	継続	○ 地域の書店に「うちどくブックリスト」設置の協力に向けた協議を進める。

4 地域（2）公民館・地域子育て支援センター等

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
① 事業の充実	文化政策課	○ 「にいがた市民文学」で 18 歳以下を対象とした「青春の部」を継続実施し、若年層からの応募を呼びかけるとともに、より広く文芸に興味を持ってもらうため、初心者向けの出前講座を開催する。	継続	○ 「にいがた市民文学」で 18 歳以下を対象とした「青春の部」を継続実施し、若年層からの応募を呼びかけ、526 点の作品が集まった。また、より広く文芸に興味を持ってもらうため、初心者向けの出前講座（短歌、俳句）を開催した。	継続	○ 「にいがた市民文学」で 18 歳以下を対象とした「青春の部」を継続実施し、若年層からの応募を呼びかけるとともに、より広く文芸に興味を持ってもらうため、初心者向けの創作教室を開催する。

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
① 事業の充実	国際課	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語の絵本の読み聞かせが各区に広がっていくことに期待し、実施を希望する図書館等に対して、市国際交流協会が持っているノウハウを提供し、各図書館・施設等が自主事業の一環として開催できるよう事業支援を行う。 国際課は国際交流員の派遣依頼を受ける窓口となる。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第 1 回 (主催：亀田図書館) 日時：平成 29 年 7 月 25 日 (火) 会場：江南区文化会館 和室 言語：英語，中国語 参加人数：子ども 19 人，保護者 14 人 ○ 第 2 回 (主催：生涯学習センター図書館) 日時：平成 29 年 8 月 9 日 (水) 会場：新潟国際友好会館交流サロン 言語：英語，韓国語 参加人数：子ども 14 人，保護者 12 人 ○ 第 3 回 (主催：坂井輪図書館) 日時：平成 29 年 8 月 23 日 (火) 会場：坂井輪図書館おはなしのへや 言語：韓国語，中国語 参加人数：子ども 11 人，大人 11 人 ○ 亀田図書館 (英語) と坂井輪図書館 (中国語) では、言語の読み手を新潟市在住外国人にお願いした。 ○ 絵本の読み聞かせだけでなく、外国語やその国に親んでもらうため簡単な歌や手遊び、動物の鳴き声など紹介した。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館事業である外国語絵本の読み聞かせに国際交流員等を派遣する。 夏休み期間に 3 回実施予定。 外国語絵本の読み聞かせのほか、外国の遊びやあいさつなどを紹介し、他国文化に触れる機会を提供する。 【今年度開催予定】 8 月 8 日 (水) 生涯学習センター図書館 8 月 23 日 (木) 亀田図書館 8 月 29 日 (水) 中央図書館

施策	担当課	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）
① 事業の充実	こども政策課	○ 放課後児童クラブ入会対象児童が 6 年生まで拡大されたため、高学年向けの蔵書も充実させる。	継続	○ 放課後児童クラブの活動の充実のため、限られた予算の中ではあるが高学年の児童のための蔵書確保に努めた。	継続	○ 放課後児童クラブ入会対象児童が 6 年生まで拡大されたため、高学年向けの蔵書も充実させる。
		○ こども創造センターでスタッフやボランティアによる絵本の読み聞かせを実施し、本に触れる機会を提供していく。	継続	○ こども創造センター職員による絵本の読み聞かせを実施し、年間 30 回開催し、絵本に触れる機会を提供した。	継続	○ こども創造センターでスタッフやボランティアによる絵本の読み聞かせを実施し、本に触れる機会を提供していく。
	こども家庭課	○ 児童発達支援センターでの業務において、季節や生活を意識した絵本を中心に繰り返し読み聞かせを行う。また、絵本による視覚支援を取り入れた療育を効果的に行う。	継続	○ 子どもたちが興味を持った絵本を題材に、子供たちの特性に合わせてごっこ遊びに発展させ、療育に取り入れた。	継続	○ 児童発達支援センターでの業務において、季節や生活を意識した絵本を中心に繰り返し読み聞かせを行う。また、絵本による視覚支援を取り入れた療育を効果的に行う。
		○ ボランティアなどによる季節に応じた絵本、生活に関する絵本、言葉遊びのできる絵本などの読み聞かせを実施する。		○ ボランティアによる絵本の読み聞かせでは、発表会で披露したごっこ遊びの題材にした絵本が出てきたり、療育の中で親しんでいた絵本を読んでもらったりすることで、子どもたちが熱心に絵本に見入っていた。		○ ボランティアなどによる季節に応じた絵本、生活に関する絵本、言葉遊びのできる絵本などの読み聞かせを実施する。
		○ 利用者の保護者に対し、児童発達支援センターで所有する絵本の貸出を行う。	継続	○ 視聴覚だよりや玄関前スペースの壁面を利用しておすすめ絵本を紹介したことが効果を上げ、絵本の貸し出し冊数が増えた。年間の絵本貸出し冊数は、88 冊だった。	継続	○ 利用者の保護者に対し、児童発達支援センターで所有する絵本の貸出を行う。

施策	担当課	平成 29 年度 of 取組 (計画)	区分	平成 29 年度 of 取組 (結果)	区分	平成 30 年度 of 取組 (計画)
① 事業の充実	中央区 健康福祉課	○ 子育て応援ひろば，児童センターでは幼児，児童等に読み聞かせを実施する際，同伴の保護者にも読み聞かせの大切さを伝える。【再掲】	継続	○ 子育て応援ひろば，児童センターでは幼児，児童等に読み聞かせを実施する際，同伴の保護者にも読み聞かせの大切さを伝えた。【再掲】	継続	○ 子育て応援ひろば，児童センターでは幼児，児童等に読み聞かせを実施する際，同伴の保護者にも読み聞かせの大切さを伝える。【再掲】
	中央公民館	○ 親同士の交流や情報交換の場である子育てサロン事業など公民館を会場にした事業の中で，絵本の読み聞かせの時間を設ける。	継続	○ 子育てフリースペース事業の中で，図書館司書や公民館利用団体による絵本の読み聞かせの時間を設けた。(11 館)	継続	○ 親同士の交流や情報交換の場である子育てサロン事業など公民館を会場にした事業の中で，絵本の読み聞かせの時間を設ける。
		○ 絵本の読み聞かせ事業をボランティアと協働で実施することにより，その活動を支援する。	継続	○ 公民館講座の中で，絵本の読み聞かせを行う機会を設けて，ボランティアと協働して実施した。(6 館)	継続	○ 絵本の読み聞かせ事業をボランティアと協働で実施することにより，その活動を支援する。
② 蔵書の充実や事業への支援	こども政策課	○ こども創造センターの蔵書をより充実させる。	継続	○ 昨年度，中央図書館から寄贈を受けたリサイクル図書を設置し，蔵書の充実を図った。また企業より寄贈を受けた絵本を利用し，更なる蔵書の充実を図った。	継続	○ こども創造センターの蔵書をより充実させる。
③ ボランティア活動の推進	文化政策課	○ 新津美術館の展覧会関連イベント「クリスマスミュージアムコンサート」において，音楽，美術作品とのコラボレーションとしてボランティアによる朗読を行う。	継続	○ 12月23日(土・祝)にクリスマスミュージアムコンサートを開催。子どもを含め180名の観覧者からボランティアによる朗読も楽しんでいた。	継続	○ 新津美術館の展覧会関連イベントにおいて，音楽，美術作品とのコラボレーションとしてボランティアによる朗読を行う。

施策	担当課	平成 29 年度の実施（計画）	区分	平成 29 年度の実施（結果）	区分	平成 30 年度の実施（計画）
③ ボランティア活動の推進	生涯学習センター	○ 生涯学習ボランティアバンクにおいて、依頼要請に基づきボランティアを紹介する。	継続	○ 絵本読み聞かせや紙芝居実演、昔話語り等、ボランティアバンクに5名の個人と7つのグループが登録している。 チラシ等で広く利用の周知を図っているが、子どもを対象としての派遣申請はなかった。	継続	○ 生涯学習ボランティアバンクにおいて、依頼要請に基づきボランティアを紹介する。
					新規	○ 中央図書館と連携し、図書館登録の読み聞かせボランティアグループに、生涯学習ボランティアバンクへの登録について情報提供する。
	中央図書館	○ 読み聞かせボランティアグループに生涯学習ボランティアバンクへの登録を働きかける。	拡大	○ 読み聞かせボランティアグループの生涯学習ボランティアバンクへの登録について検討した。	継続	○ 生涯学習センターと連携し、図書館登録の読み聞かせボランティアグループに、生涯学習ボランティアバンクへの登録について情報提供する。

◇計画推進のために

1 数値目標		平成 26 年度実績	平成 29 年度実績	平成 31 年度目標	担当課	
①中学生の不読率 1か月に1冊も本を読まなかった生徒の割合		12.1%	11.4%	10.0%	学校支援課	
②学校図書館を活用した授業を計画的に行った学校の割合	○小学校（6年生に月に数回程度以上）	77.2%	74.7%	82.0%		
	○中学校（3年生に学期に数回程度以上）	55.1%	71.9%	60.0%		
③市立図書館における児童一人あたり児童書の貸出冊数（12歳以下の子ども一人あたり）		12.1冊	13.0冊	13.0冊	図書館	
2 広報と連携	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）	担当課
子どもの読書活動推進の広報・働きかけ	○ 様々な機会をとらえ、広報誌やホームページなどで図書館や学校図書館支援センターの取組について発信する。	継続	○ 様々な機会をとらえ、広報紙や新潟市の図書館ホームページなどで図書館や学校図書館支援センターの取組について発信した。 ・「学校図書館支援センター通信（合同版）」の発行年3回 ・「平成 28 年度学校図書館支援センター年間報告」の発行（6月）	継続	○ 様々な機会をとらえ、広報誌やホームページなどで図書館や学校図書館支援センターの取組について発信する。	図書館
	○ ホームページのキッズページを更新する。	継続	○ 「赤ちゃんタイム」についてキッズページや各図書館だより、区だより等を通して市民への周知に努めた。	継続	○ ホームページのキッズページを更新する。	
3 推進体制	平成 29 年度の取組（計画）	区分	平成 29 年度の取組（結果）	区分	平成 30 年度の取組（計画）	
計画の推進会議の開催	○ 「新潟市子ども読書活動推進計画庁内推進会議」を開催し、子どもの読書活動に関して情報交換を行う。	継続	○ 「新潟市子ども読書活動推進計画庁内推進会議」を2回開催し、子どもの読書活動に関して情報交換を行った。	継続	○ 「新潟市子ども読書活動推進計画庁内推進会議」を開催し、子どもの読書活動に関して情報交換を行う。	
	○ 「学校図書館関係課・機関連絡会議」を開催し、学校図書館支援について連携を深める。	継続	○ 「学校図書館関係課・機関連絡会議」を2回開催し、学校図書館支援について連携を深めた。	継続	○ 「学校図書館関係課・機関連絡会議」を開催し、学校図書館支援について連携を深める。	